



令和6年9月24日（火）、北三沢地区にて三沢市立おおぞら小学校の4～6年生52名を対象にした稲刈り体験学習が行われました。

5月に田植えを行った水田ではずっしりと穂が垂れた稲が一面黄金色に広がり、夏の暑さにも負けずにしっかりと実っていました。週末の雨では場がぬかるむかと心配されていましたが、前日からの晴天によりきれいに乾き、今年はしっかりとした足元での稲刈り体験となりました。

参加した児童たちは「稲はいっぱい、感謝もいっぱい」をスローガンに掲げ、配られた鎌で丁寧に稲刈りを行いました。



【稲刈りの仕方を教わる児童】



【最初の一株を刈って記念撮影】



【稲刈り前に一列で整列】



【稲刈りの様子】



【収穫した稲】

収穫した稲の一部はその場でコンバインによって脱穀されました。稲を次々に取り込み稲わらだけとなって外に出される様子を見て、児童たちは関心の声を上げていました。

一年を通して行われた水田での体験学習を経て、土に親しんで働くことの苦労や食べ物大切さが伝わったかと思います。これからお米を食べる時には水田学習で学んだことを思い出してもらえたら何よりです。



【コンバインによる脱穀】



【脱穀した稲】

関連事業：中山間地域ふるさと活性化事業（通称：ふる水基金、棚田基金）

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/hurumizutanada.html>